

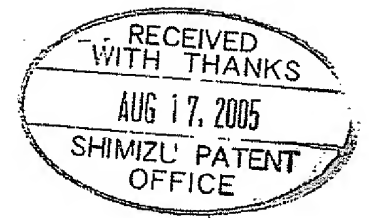
特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法 8 条、法施行規則第 40、41 条)

[PCT 18 条、PCT 規則 43、44]



| | | |
|-------------------------------|---|---------------------------|
| 出願人又は代理人 の書類記号 D3-A0405P | 今後の手続きについては、様式 PCT/ISA/220 及び下記 5 を参照すること。 | |
| 国際出願番号 PCT/JP2005/005144 | 国際出願日 (日.月.年) 22.03.2005 | 優先日 (日.月.年) 23.03.2004 |
| 出願人 (氏名又は名称) 株式会社ディナベック研究所 | | |

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第 41 条 (PCT 18 条) の規定に従い出願人に送付する。
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 4 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

- a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。
☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った (PCT 規則 23.1(b)).
- b. ☒ この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる (第 I 欄参照)。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない (第 II 欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している (第 III 欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。
☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。
☐ 第 IV 欄に示されているように、法施行規則第 47 条 (PCT 規則 38.2(b)) の規定により
 国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から 1 カ月以内にこ
 の国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 図面に関して

- a. 要約書とともに公表される図は、
 第 図とする。 ☐ 出願人が示したとおりである。
☐ 出願人は図を示さなかったため、国際調査機関が選択した。
☐ 本図は発明の特徴を一層よく表しているため、国際調査機関が選択した。
- b. ☒ 要約とともに公表される図はない。

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ C12N15/09, A61K35/28, 38/00, 48/00, A61P1/16, 29/00, 35/00, 37/02, C12N5/10

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ C12N15/09, A61K35/28, 38/00, 48/00, A61P1/16, 29/00, 35/00, 37/02, C12N5/10

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用了電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

BIOTECHNOLOGY ABSTRACT (DIALOG), BIOSIS (DIALOG), MEDLINE (STN), WPI (DIALOG), JSTPlus (JOIS)

C. 関連すると認められる文献

| 引用文献の カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 | 関連する 請求の範囲の番号 |
|-----------------|--|---|
| X/Y | FELDMAN, E., et al., Adenovirus mediated alpha interferon (IFN-alpha) gene transfer into CD34+ cells and CML mononuclear cells, Stem Cells (1997) Vol.15, No.5, p.386-95. | 1-4, 8-17/ 6-7, 20, 22-27 , 29-31 |
| X/Y | JP 09-501837 A (ローン・プーラン・ロレ・ソシエテ・アノニム) 1997.02.25, 全文 & WO 95/06120 A1 & FR 2709309 A1 & AU 9475398 A & ZA 9406264 A & NO 9600743 A & EP 719332 A1 & FI 9600855 A & US 6210963 B1 & IL 110754 A & DE 69433921 E & KR 392984 B | 1-4, 8-17/ 6-7, 20, 22-27 , 29-31 |

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

05.07.2005

国際調査報告の発送日

16.8.2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

左海 匡子

電話番号 03-3581-1101 内線 3488

4N

3038

| C (続き) . 関連すると認められる文献 | | |
|-----------------------|--|---|
| 引用文献の カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 | 関連する 請求の範囲の番号 |
| X/Y | STUDENY, M., et al., Bone marrow-derived mesenchymal stem cells as vehicles for interferon-beta delivery into tumors, Cancer Res (2002) Vol.62, No.13, p.3603-8. | 1-4, 8-17/ 6-7, 20, 22-27 , 29-31 |
| X/Y | DUAN, H.F., et al., Treatment of myocardial ischemia with bone marrow-derived mesenchymal stem cells overexpressing hepatocyte growth factor, Mol Ther (2003) Vol.8, No.3, p.467-74. | 1-5, 8-17/ 6-7, 23-26, 30 -31 |
| X/Y | OHASHI, T., et al., Reduction of lysosomal storage in murine mucopolysaccharidosis type VII by transplantation of normal and genetically modified macrophages, Blood (2000) Vol.95, No.11, p.3631-3. | 1-2, 8-19, 25- 26/4, 6-7, 23- 26, 30-31 |
| Y | WO 2000/070070 A1 (株式会社ディナベック研究所) 2000.11.23, 全文 & AU 200046146 A & EP 1186667 A1 & KR 2002014786 A & CN 1355851 A | 4, 6-7, 23-24, 30-31 |
| Y | 飯田章博ほか, センダイウイルスのリバースジェネティクスを活用した新規遺伝子治療用RNAベクター 蛋白質核酸酵素 (2003) 第48巻第10号第1371-77頁 | 4, 6-7, 23-24, 30-31 |
| A | 小沢敬也, 造血器疾患の遺伝子治療 Immunohaematology (1990) 第12巻第4号第421-427頁 | 1-31 |
| A | 佐川保ほか, 進歩した肝がんの早期発見と治療 肝癌の遺伝子治療 臨床と研究 (2001) 第78巻第7号第1265-1270頁 | 1-31 |
| A | 小沢敬也, 遺伝子医療の進歩 遺伝子治療の現状と最近の動向 臨床化学 (2001) 第30巻第1号第28-34頁 | 1-31 |
| A | SHAH, R., et al., Stable transfection of rat preproinsulin II gene into rat hematopoietic stem cells via recombinant adeno-associated virus, Life Sci (1999) Vol.65, No.20, p.2041-7. | 1-31 |

| C (続き). 関連すると認められる文献 | | |
|----------------------|---|------------------|
| 引用文献の カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 | 関連する 請求の範囲の番号 |
| A | 梨井康, さい帯血を用いた移植・再生医療に関する研究 (ヒューマンサイエンス振興財団S) 創薬等ヒューマンサイエンス研究重点研究報告書 平成13年度 第5分野 健康保持増進・予防医薬品の開発に関する研究 (2002) 第1-6頁 | 1-31 |
| A | 横尾隆, 骨髄改変による長期的遺伝子導入システムを用いた腎臓再生法の開発 三共生命科学研究振興財団研究報告集 (2003) 第19巻第201-209頁 | 1-31 |
| A | JP 08-508415 A (ユニバーシティ オブ ピッツバーグ オブ ザ コモンウェルス システム オブ ハイヤー エデュケーション) 1996.09.10, 全文 & WO 95/16353 A1 & AU 9515134 A & EP 690673 A1 & US 5766585 A | 1-31 |